

11月17日 欧州エネルギー関係者の秋保（仙台市）・旧伊達伯爵邸ツアー

火力原子力発電技術協会主催で欧州のエネルギー関係者など17名が、秋の紅葉が美しい秋保を観光しました。一行は磊々峡のもみじのこみちを散策。秋保大滝では、震災で一部壊れた不動明王が修復され、耐震化（胴体内部に鉄骨）されたことを説明すると参加者は驚いた様子でした。

旧伊達伯爵邸の鐘景閣では、ユネスコの無形文化遺産に登録された日本食を味わい、会合の合間にリラックスしたひとときを思い思いに楽しまれました。 担当：小笠原



落差55mの秋保大滝をバックに記念撮影



大滝のそばには3mの不動明王がにらむ



「これは何？」 「フットバス（休業中の足湯）！」



参加者と



和食の魅力が伝わりますように・・・懸命の通訳料理は愛姫の駕籠の中からも出てきました